

2学年通信

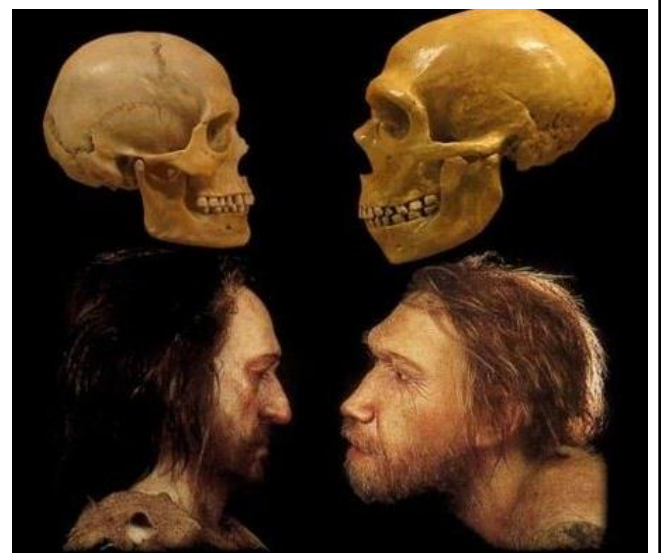
Practice Makes Perfect

担当：杉浦俊

夏休みはあっという間に終わり、2学期が始まりました。過ぎ去った夏休みを憂い、嘆いている暇はありません。2学期には日々の学校生活に加え、文化祭や体育大会、修学旅行など、学校行事も目白押しです。普段以上に他者との関わりも増えることでしょう。大勢の人と関わることに楽しさだけでなく、中には煩わしさを感じる人もいるのかもしれませんが、それでも、人と人との間で生きていかねばならないのが人間です。

“Homo sapiensは集団生活が得意！？”

現在地球上に存在するヒトはホモ・サピエンスのみですが、かつて地球上には、ホモ・サピエンス以外にネアンデルタール人やデソニワ人など、複数種のヒトが同時期に存在しました。特に、ネアンデルタール人はホモ・サピエンスよりも一回り大きな体をしていて、運動能力もホモ・サピエンスより優れていた、と考えられています。そのような環境下で、ネアンデルタール人ではなく、ホモ・サピエンスがなぜ大繁栄を遂げることができたのか、そのひとつの要因に「協働する能力・コミュニケーション能力」があると考えられています。ホモ・サピエンスはコミュニケーションをとり、協働して狩猟を行うなど、集団で生活し助け合う文化を発展させました。個の能力としてはネアンデルタール人が勝ったかもしれませんが、集団としての強みがホモ・サピエンスにはあり、ホモ・サピエンス大繁栄のひとつの要因となったと考えられています。ちなみに、ホモ・サピエンスとネアンデルタール人、デソニワ人は実は仲良しだったようで、私たちのDNAを調べるとネアンデルタール人のDNAの痕跡があることがわかっています。多少強引ではありますが、私たちホモ・サピエンスは他者と関わり合いながら生活することに長けている種なのです。



↑ホモ・サピエンス ↑ネアンデルタール人

“今月の月訓は「礼儀」です”

他者と関わり合いながら生活する上で潤滑油となるのが礼儀です。礼儀に近い言葉として、マナーやモラル、ルール、エチケット等があります。これらの違いを考えてみましょう。

- ルール…規則。必ず守らなくてはならない決まりごと。
- モラル…倫理、道徳。
- マナー…集団（公共）における礼儀作法。社会生活上で気持ち良く生活するための知恵、気遣い。
- エチケット…相手（個人）に対する礼儀作法。個人に不快な思いをさせないよう気遣うこと。

マナー・ルール・モラル・エチケットの違いについて、電車を例に考えてみましょう。

- ルール…乗るときに切符を購入する。
- モラル…身体の不自由な人に席を譲る。
- マナー…乗車中に電話をかけない。優先席付近では携帯電話を OFF にする。他の人も座れるよう座席を広く使わず1人分のスペースに座る。
- エチケット…電車に乗るときに強い香水をつけない。風邪のときにはマスクをして電車に乗る。

参考：嫁マナー「マナーとモラルの違い ルールやエチケットや常識との微妙な関係とは」

“私たちがみんな、小さな礼儀作法に気がつけたなら、人生はもっと暮らしやすくなる。”
喜劇王 チャールズ・チャップリンの言葉です。暮らしやすい世の中をつくるのはだれかではなく、自分自身です。

☆9月（長月）の行事予定・月訓『礼儀』

1	金	第二学期 始業式／身だしなみ指導	16	土	
2	土		17	日	
3	日		18	月	敬老の日
4	月	課題試験	19	火	2年生進路希望調査回収
5	火	課題試験／執行部合同会	20	水	
6	水		21	木	
7	木		22	金	
8	金	基礎製図検定	23	土	秋分の日
9	土	受験対策講座	24	日	全商情報処理検定試験
10	日		25	月	文化祭振り替え休日
11	月	学年朝礼 チャレンジ0週	26	火	体育大会準備（午前）／体育大会全体予行（午後）
12	火	常任委員会	27	水	体育大会（各自弁当持参）
13	水		28	木	5・6限文化祭準備
14	木	2年生進路希望調査配布	29	金	文化祭①
15	金		30	土	文化祭②

☆コラム『防災の日』

防災の日は、大正 12 年（1923 年）9 月 1 日に発生し、10 万人以上の死者、行方不明者を出した「関東大震災」に由来している。また、1959 年 9 月 26 日には「伊勢湾台風」が上陸した。5,000 人を超える死者・行方不明者を出し、明治以降の日本で起こった台風災害の中では最も被害が大きく「台風災害史上、最悪の惨事」だといわれている。当時でも、伊勢湾台風は上陸前から存在が確認できており、正確な進路予想まで立てられていたが、被害想定の見積もりが不十分だったことや行政の防災体制が整っていなかったこと、また住民の防災意識が希薄だったこともあり、被害拡大の要因となった。

十分な防災対策があれば助かった命も多かったことから防災意識の重要性に目が向けられ、災害発生から 1 年後の 1960 年、防災の日が制定されたのである。